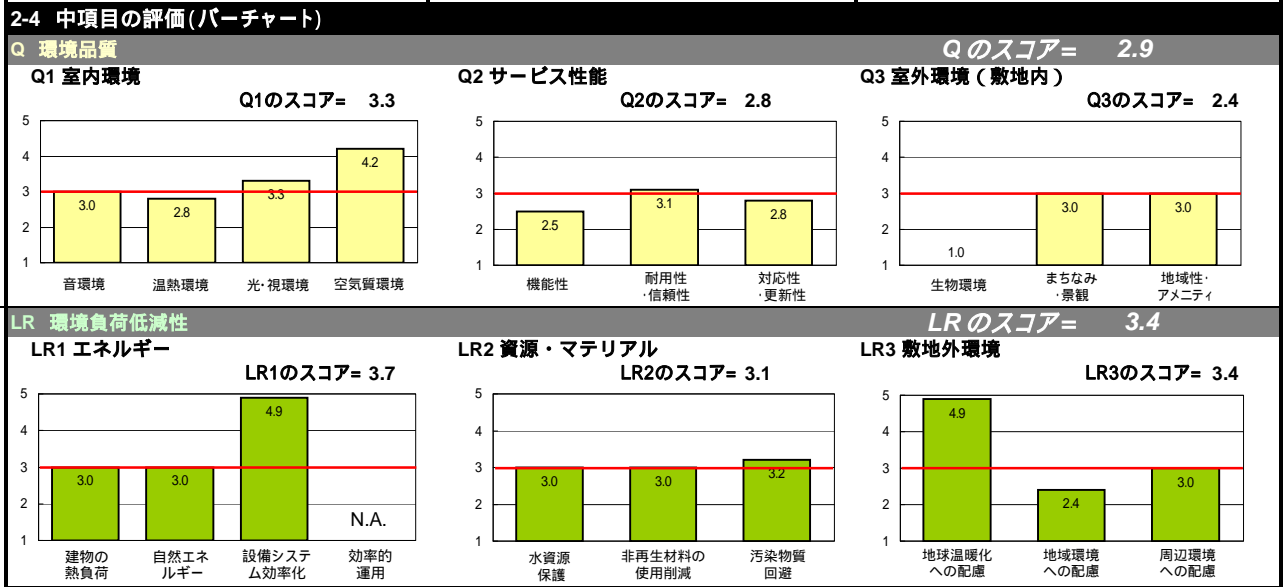
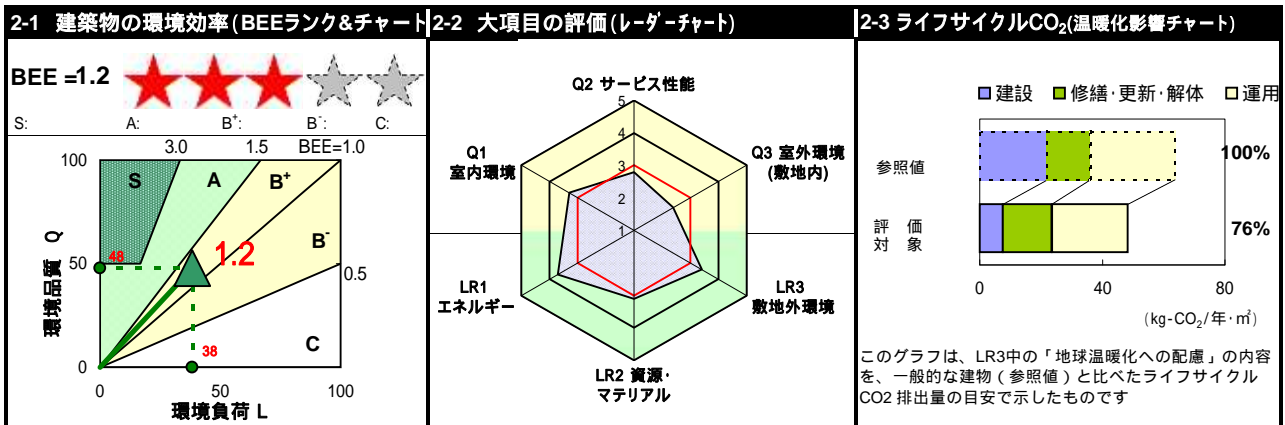


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・パークハウス町田	階数	地上15F
建設地	神奈川県相模原市南区上鶴間本町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	392人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2010年12月24日
敷地面積	1,933 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	845 m ²	確認日	2010年12月24日
延床面積	9,305 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 ■室内環境に優れ、長寿命な建物を建設する。 ■設備・構造・外溝計画それぞれに省エネルギー化に配慮した設計を行う。 ■地域のアメニティに貢献する外溝計画とする。		その他
Q1 室内環境 ■光視環境及び、空気環境に優れた集合住宅をプランニングする。	Q2 サービス性能 ■躯体耐用年数、設備配管の更新性に配慮し、建物の長寿命化を図る。	Q3 室外環境(敷地内) ■自主管理広場を前面道路に面して配置し、地域住民のアメニティに配慮する。
LR1 エネルギー ■燃焼系潜熱回収給湯器(エコジョーズ)を採用し、建物の省エネルギー化に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ■部材の再利用化に配慮し、躯体と分離した二重壁構造を採用。	LR3 敷地外環境 ■緑地率10%以上を確保し、温熱環境悪化の改善に配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい